

キア オラ、こんにちは。

アオテアロア、ニュージーランド 随一の美しい名所 ピオピオタヒ ミルフォード・サウンドへ ようこそ。

サザン・ディスカバリーズは、ミルフォード・サウンドを本拠地として設立された最初のクルーズ会社です。一生に一度の機会に当社のクルーズをお選びいただけて光栄です。この地の魅力を皆さまと共有できることは私どもにとって何よりの喜びです。

ピオピオタヒ：ツグミの歌う場所

マオリの伝説によると、フィヨルドを形づくったのは半神半人のトゥ・テ・ラキファノアでした。彼は魔法の手斧と呪文を使って最高傑作を削り出したのだそうです。ピオピオタヒとはマオリ語で「ツグミが1羽」という意味です。かつて英雄マウイが人類に不死をもたすために戦ってこの地で倒れたとき、ツグミが1羽飛んできて喪に服した、と語り継がれています。正確にはピオピオはツグミに似た鳥なのですが、残念ながら既に絶滅しています。



ミルフォード・ヘイヴン

狭い入り口近くをキャプテン・ジェームズ・クックほかヨーロッパの探検家が航行したことは何度かあったようですが、1823年に初めて進入しミルフォード・サウンドを「発見」したのはウェールズのオットセイ猟師、キャプテン・ジョン・グロノでした。グロノは自分の出身地にちなんでミルフォード・ヘイヴンと名付けましたが1851年にこのフィヨルドにしばらく停泊したウェールズ出身のジョン・ロート・ストークスがミルフォード・サウンドと改名しました。

サザン・ディスカバリーズ

ミルフォード・サウンドにヨーロッパから最初に入植したドナルド・サザーランドは、1877年にフレッシュウォーター・ベイسنに小屋を建て、以後42年間をそこで暮らしました。妻のエリザベス・サミュエルとともにミルフォードで「都市建設」に着手したのですが、わらぶき屋根の小屋が3つと、ミルフォード初のホテルとなった18室の宿泊施設がひとつあるだけでした。1890年代にサザーランドはミルフォード・トラックを歩く人々のための渡し船を手漕ぎボートで出すようになりました。この事業が母体となってミルフォード・サウンド初のクルーズ会社、サザン・ディスカバリーズが設立されました。



ミルフォード・サウンド クルーズのハイライト

1 フレッシュウォーター・ベイسن
サザン・ディスカバリーズのクルーズはフレッシュウォーター・ベイسنに面したミルフォード・サウンド・ビジターセンターから出発します。この小さな入り江では海水より淡水の比率が高く、これが名前の由来となっています。

2 ディープウォーター・ベイسن
かの有名なミルフォード・トラックの終点にあたります。

3 シンバッド溪谷
典型的な急勾配の谷。左側は1445mのフィリップス山、右側はマイター・ピーク、後方をローレニー山脈に囲まれています。シンバッド溪谷の環境保全プロジェクトはサザン・ディスカバリーズがスポンサーとして参加しているもので、ニュージーランドでも特に貴重な在来種の保護活動を支援しています。

4 マイター・ピーク
標高1692mのマイター・ピークは海底からまっすぐにそびえ立つ山としては世界でもかなり高い部類に入ります。名前は形が司教帽(Mitre)に似ていることから付けられました。

5 コッパー岬
銅の鉱床があることから名付けられたこの岬の辺りは、特に幅の狭い地形になっています。瞬間風速が毎時140kmを超えたという記録が残っています。

6 フェアリー滝
滝にかかる虹が妖精を思わせる、ミルフォード・サウンドの代表的な見どころです。水量は多いものの、雨の降らない日が2、3日も続くこの滝は枯れてしまいます。

7 アニタ湾
その昔、先住民マオリが貴重な石タンギワイを求めて訪れていた場所です。これはグリーンストーンと呼ばれるヒスイの一種で、武器や装身具に加工されました。

8 セント・アンズ岬
海拔27mの場所に自動式の灯台があります。14km先の海上から確認できます。

9 デール岬
タスマン海からミルフォード・サウンドへの入り口にあたります。幅はおおよそ548m、水深は最大で300mあります。

10 ザ・エレファント
この山の形は象の頭に似ています。頭頂部の近く、標高1507mの山から下へのびる斜面の一部がちょうど鼻のように見えます。

11 ペンブロック山
標高2014m、フィヨルド内でも特に高い山。頂上は万年雪で覆われています。このフィヨルドを刻んだ元の氷河の一部がペンブロック山に残っています。雪解け水はいく筋かの小川をなし、ハリソン川となって流れていきます。

12 シール ロック
海から上がって岩場でくつろぐオットセイがよく見かけられる場所です。この辺りのフィヨルドで通年暮らしています。

凡例

- クルーズ航路
- カヤックのルート
- 天候に応じて航行するルート
- ミルフォード サウンド ビジター センター

13 ステアリング滝
頭上155mから流れ落ちてくるステアリング滝はミルフォード・サウンド内に2つしかない枯れない滝のひとつです。滝の名前は初期にこの辺りを探検したステアリング船長にちなんで付けられました。

14 ライオン山
1301mの通称ライオン山はこのフィヨルドの北岸に位置しています。正式にはキンバリー山という名前がありますが、うずくまったライオンに似た形をしているので、こちらの名前のほうがよく使われています。

15 ハリソン コーブ
フィヨルド内で唯一の天然の良港で、1800年代はじめ頃には捕鯨やオットセイ猟に来た船が停泊していました。ミルフォード・サウンド海中展望台とサザン・ディスカバリーズのカヤックツアー営業所はここにあります。

16 ボウエン滝
ミルフォード・サウンドで常時流れている滝は2つだけで高い方がボウエン滝です。ダーレン山脈の谷から161m下の海面に向かって流れ落ちています。



あなたが体験した
ミルフォード・サウンドの
アドベンチャーをシェア

Instagramで
@southerndiscoveries

フェイスブックで
southerndiscoveriesnz

レビュー投稿を
トリップアドバイザーで

クィーンズタウンで
クルーズを
しませんか

southern discoveries

フリーダイヤル (NZ国内)
0800 264 536
southerndiscoveries.co.nz
info@southerndiscoveries.co.nz

海外から
+64 3 441 1137



ミルフォード・サウンドの 固有種・在来種を保護しています

サザン・ディスカバリーズはミルフォード・サウンドの美しさを次世代に伝えていく活動に意欲的に取り組んでいます。フィヨルドランド・コンサベーション・トラストおよび環境保全省とのパートナーシップのもと、絶滅に瀕しているシンバッド渓谷特有の生き物が個体数を回復できるよう、害獣駆除プログラムを運営しています。また、長期的には渓谷からいなくなってしまった生き物を導入し本来の生態系を再生することを目標としています。

現在シンバッド渓谷には、トコエカ/キーウィ、フィオ/ブルーダック、ウェカ、カカ、ケア、ロックレン（イワサザイ）といった野鳥や絶滅が危惧されているシンバッド・スキנק、クリプティック・スキנק、カスケード・ゲッコーといったトカゲが生息しています。一帯は山岳性のトカゲの生息域としては世界でも有数と言われています。また、シンバッド渓谷は地上生活する野生のオウムカカポが確認された最後の生息地のひとつでもあるため、害獣駆除が完了したら、カカポを再生させることも検討しています。

ご存じ
ですか？

ミルフォード・サウンドのサウンドは本来は河川的作用でできた谷を指します。実は氷河で削られてできた谷はフィヨルドと呼ぶのが正しいのです。

見どころは水面下にも まだまだあります

ミルフォード・サウンド・アンダーウォーター・オブザバトリー
の海中展望台は、ピオピオタヒ海洋保護区の水深10mほどの場所に係留されていて、大きなガラス窓の向こうにこの海域独特の世界が広がっています。

ミルフォード・サウンドの水面から数メートル下までは山から流れてきた淡水が溜まって、海水の上に層をなしています。淡水層は森林を通過する間にタンニンなどが溶け込むため暗い色になっています。これが下の海水層に透過する光の量を制限し、水深の浅い場所に深海のような環境が成立します。

例えば、黒い骨格に小さな白いイソギンチャクのような生体が集まってできる黒サンゴは本来なら水深50m以上の深い海に生息しますがミルフォード・サウンドでは水深わずか10mの場所でも見られます。これはとても珍しい現象です。



クルーズに
追加できます

クルーズに海中展望台を追加したい方は乗務員にお声かけください。



トカゲは
どこだ

さがしてみよう！
トカゲのかげは
ぜんぶで8つ
あるよ

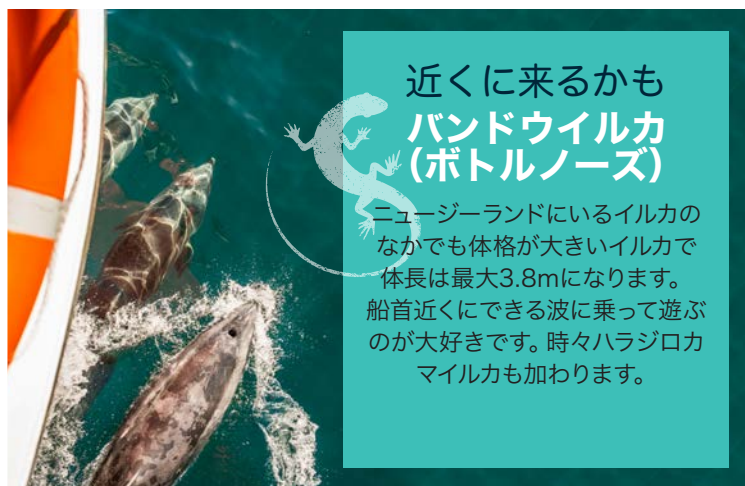
ご存じ
ですか？

ミルフォード・サウンドは平均で年に182日が雨の日です。ニュージーランドで人が居住する地域では降水量が最も多いことで知られています。



探してみよう ニュージーランド オットセイ

ミルフォード・サウンドに通年定住しています。海の中ではイカや魚をとって食べていますが、休憩のときはシール・ロックなどの岩場上がります。最大で水深380mまで潜ることができます。潜水時間は最大15分です。



近くに来るかも バンドウイルカ (ボトルノーズ)

ニュージーランドにいるイルカのなかでも体格が大きいイルカで体長は最大3.8mになります。船首近くにいる波に乗って遊ぶのが大好きです。時々ハラジロカマイルカも加わります。



ご紹介します フィヨルドランド クレストッド ペンギン

マオリ語ではタワキと呼ばれています。とても珍しい種類でたまにしか現れないので、姿を見かけたらラッキーです。毎年同じ営巣地に戻って、同じパートナーと子育てをします。繁殖期は8月から11月です。

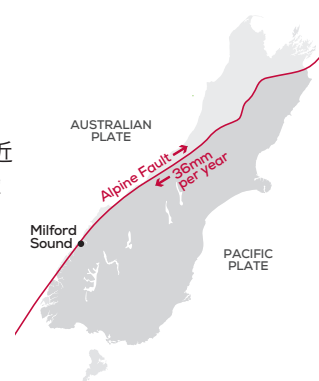


もう会いましたか ケア

とても人懐こく好奇心旺盛で知能も高い鳥で、いたずらが大好きです。ミルフォード・サウンドにつながる道路脇で、時々車の部品をかじって遊んでいます。食べ物に強い関心を示しますが、人間の食べるものでは体を壊してしまうので、欲しがっても与えないでください。

地殻活動

大きなプレートの境界に沿って走るアルパイン断層は世界でも有数の断層で、ミルフォード・サウンドの入り口付近を横切っています。オーストラリア大陸側のプレートは横向きに移動しており年に36mmの速度でフィヨルドの下に押し込まれています。上に乗っているプレートではその力が岩が押し上げられ、山岳地が形成されています。



ご存じ
ですか？

ミルフォード・サウンドでは数百の滝が見られることもありますが、年中枯れない滝はステアリング滝とボウエン滝の2つだけです。ボウエン滝では水力発電が行われていてミルフォード・サウンドで使われる電力をすべて供給しています。

氷河作用

ミルフォード・サウンドの地形は氷河に削られてできました。今からおよそ2万年ほど前にピークを迎えた最後の氷河期には、この辺りにはるか海上まで氷河に覆われていて、地上には山の頂が顔を出しているだけでした。

やがて地球が温暖化して氷河が後退し、海面が上昇しました。そしてミルフォード・サウンドの深い谷にも海水が入り、人が来るよりもずっと前に今のような地形になりました。